

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入]新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)
受託者名	特定非営利活動法人津市NPOサポートセンター
実施期間	平成24年4月1日～平成24年9月30日 ※ 契約期間：平成24年4月1日～平成25年3月29日 (事業開始：平成23年10月1日～)
受託金額	6,688,280円
受託内容	NPO専門雑誌を発行し、イベント情報、ボランティア情報、企業CSR、協働に関する情報、寄付・助成金情報など、人・金・情報が雑誌を通じて循環するきっかけを生むように取り組む。 ■平成24年度に達成しようとする成果 設置箇所を50か所に増やします。
得られた成果及び自己評価	※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。 “ボランティアをすることでスキルアップに繋がる”ことを切り口に6月、8月に無事、情報誌「HAMACHI」を発行することができました。読者のメインターゲットを「生活の中で価値や質の向上を求めている。NPO活動の中であまり出会わない(見かけない)。」30代の女性に絞り記事を企画・掲載しています。 「HAMACHI」の記事は大きく分けて以下の5つとなります。 ・特集 ・ボランティア募集 ・ボランティア体験談 ・数字で見る三重のNPO ・その他 「HAMACHI」は今までのNPO関連の情報誌や広報誌とは違う“切り口”で多くの方に訴えかけていくことに注力しています。「伝えたいことをストレートに伝える」のではなく、「伝えたいことを別の切り口から変化球的に伝え、読み手の身近なものとして捉えてもらったあと、本当に伝えたいことに気づいてもらう」ことを心がけています。そのことでより多くの人へ間接的に課題を訴求していますし、既存

の情報誌等との差別化も図っています。

またフリーペーパーですが、紙の厚さを当初のマットコート 90 から、マットコート 110 に変更することで、厚みをもたせ本誌の格調を上げることにしました（捨てられないフリーペーパーにしました）。そのため発行部数が当初予定より減ってはいますがブランド化には成功しています。

Facebook とも連携を図り本誌で載せられなかった記事や、本誌掲載のためのアンケートを Facebook 上で行っています。9月16日現在の Facebook ページの「いいね」は116。アンケート開催時等は最大で4,000人にアプローチできています。

情報を伝える“切り口”の工夫は随所で行っています。たとえば創刊号では「まちづくり」を全面に押し出さず、婚活パーティーを切り口としたまちづくりの取り組みを紹介しています。第2号ではCSRを全面に押し出さず、地元企業のこだわり商品やサービス、特にメジャーではなく知って得をするような商品を紹介しました。どちらも、自分には関係ないという記事ではなく、興味があればすぐに参加できる、又はすぐに購入できるという点に気をつけています。

創刊号では地域活性団体を、第2号では企業2社の計3団体を取り上げています。

ボランティア募集のページである「+LIFE」のコーナーでは、A4 1ページにボランティア情報を集約し「あなたのスキルアップのための選択肢の1つとしてボランティアはいかがですか？」という表現の仕方をしています。またボランティアの受け入れ団体の背景が見えるよう、インタビュー記事を掲載しています。A4サイズ1ページに1団体を掲載している理由としては、そのページを印刷することで取材に応じていただいた団体自身が、ボランティア募集のチラシとして使えるためです。

実際にこの+LIFEの記事を読んでボランティアに参加している方もいます。

創刊号、第2号を合わせて8団体を取り上げています。

表紙に関しては公募形式にし、より多くの人を巻き込むよう工夫しています。特に地域のアマチュアデザイナーなどの活動発表の場になりつつあります。

雑誌自体の評判も良いため、120カ所以上の店舗等が設置協力していただいています。例えば桑名駅では、250部設置した結果213部がはけました。通常の飲食店などでも10部という少数部を設置させていただいていますが、設置後数日で0になるという報告をいただいています。一度取材させていただいた団体からも、再度取材に来てほしいという依頼もあります。

今後の展開として尽力していきたいことは大きく分けて2つあります。

1つ目は持続するための収入源の確保です。そのために現在、既存の雑誌等と競合しないような広告収入の工夫などを話し合い開発しています。また、雑誌と連動した空間（スペース）づくりの展開も進めております。例えばコワーキングスパー

<p>スのようなものを作り、そこを事務所兼地域のキーパーソンの拠点にし、収入を上げながら情報の受発信を行い、人も巻き込んでいくことを視野に入れて動いています。その事務所を活用して別プロジェクトで行っているコミュニティバンクもできれば人、情報、お金を回すことが可能になるのではないかと考えています。最低でも月 40 万円×12 ヶ月＝480 万円の収入を目指したいと思います。</p> <p>2 つ目は「HAMACHI」のより高いブランド化です。「HAMACHI」自身がより高い価値を生み出すことにより、そこに掲載されている情報（団体）にも付加価値がつきます。それによって多くの方へ信頼度の高い NPO 情報を届けることができます。そのため、雑誌だけに収まらず様々な場所へ出ていくことを検討しています。</p> <p>取材を通じて、様々な NPO や企業、個人と出会うことができます。そのことで制作スタッフのスキルが向上し、繋がりが増えています。また、取材に応じていただいた先が HAMACHI を応援していただき、少しずつ認知度も上がってきました。</p>	
評価ラ ンク	<input type="checkbox"/> S : 特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> A : 優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B : 一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C : 限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D : 成果が得られなかった (該当する評価に〇を付けてください。)

2. 添付書類

その他参考となる書類 なし ※ 都道府県において適宜設定すること。